

レジメン名	催吐リスク
乳がん wPTX + ハーセプチン (T-mab)	軽度～中等度

適応	乳がん (HER2過剰発現乳がんの術前・術後・転移再発)				
投与期間	1週サイクルとして、12サイクルまで				
	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
①	グラニセトンバッグ <sup>®</sup> 3mg(1mgでも可) + デカドロン注6.6mg 1～2V		点滴	30分	
	レスタミンコーワ錠10mg ※1	5錠	内服	PTX投与30分前までに服用	
②	ハーセプチン (trastuzumab) 生食250mL	4mg/kg	点滴	90分	初回
	ハーセプチン (trastuzumab) 生食250mL	2mg/kg	点滴	30分	2回目以降
③	パクリタキセル (PTX) 生食250mL ※2	80mg/m <sup>2</sup>	点滴 (※3 フィルター付ライン使用)	60分	

※1 レスタミンコーワ錠内服を代えて、ポララミン注5mg 1～2Aをグラニセトンバッグへ混注でも可

※2 パクリタキセル注の溶解液は、5%ブドウ糖液250mLでも可

※3 ハーセプチン注投与の際も、フィルター付ライン使用可能

### 投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ハーセプチン		↓							↓							↓						↓
パクリタキセル		↓							↓							↓						↓

レスタミンコーワ錠内服

①グラニセトン+デカドロン (30分)

②ハーセプチン (初回90分、2回目以降30分)

③パクリタキセル (60分)

### 減量規定及び中止基準

grade3以上の血液毒性、grade3以上の有害事象